

## 菊池市まち・ひと・しごと創生戦略会議での意見

日時 令和元年 12 月 13 日 14 時 00 分~16 時 00 分

場所 菊池市役所 2 階 204 会議室

(出席委員)

会 長 澤田 道夫  
副会長 笠 愛一郎  
委 員 村上 久美恵  
” 川口 智秀  
” 山下 和貴  
” 飯塚 暁子  
” 古川 俊博  
” 船津 孝浩  
” 田代 貴美子  
” 松本 隆男

### 《基本目標 1》

#### ア 菊池の魅力発信と「菊池ファン」の創出・拡大

- ・“菊池の魅力発信”いかに、ニーズを求めている人を獲得することができるのかが重要。
- ・これまで「関係人口」に対する取り組みは先行してやってきている。国が進めるものであるため、もっと「関係人口」をアピールする記載が必要。

#### イ 観光誘客の更なる強化

- ・KPI の外国人旅行者年間宿泊者数は、韓国情勢もあるので、かなり厳しいと思う。宿泊数もかなり落ち込んでいる。
- ・キャッシュレスの推進も併せてお願いしたい。
- ・インバウンド客への対応強化として、菊池溪谷等に公共交通機関では行けないため、行政も一緒になって、課題解決をお願いしたい。
- ・外国人が利用しやすいように、行政も一緒になって取り組んでいただきたい。
- ・サイクリングに続く、電動バイクでの観光

## 《基本目標 2》

### ア 未来につながる農業力の強化

- ・ Society5.0 についても取り入れることが重要。(スマート農業など)

## 《基本目標 2》

### イ 活力を創出する商工業の振興

- ・ 創業は生まれているものの、継続性がないため、事業承継などのマッチングも重要。
- ・ 各企業が人手不足もあり、外国人の受け入れ体制が必要。
- ・ 小規模事業者にも外国人を受け入れることとなるため、行政の支援も必要。
- ・ 外国人研修生が集まれる、日本語を学ぶセンターを作る必要があるのでは。
- ・ 外国人を受け入れる住居も必要になってくる。住環境の支援も必要。
- ・ 外国人への支援や事業承継は企業任せでは厳しい状態になってきている。改善へ向けた総合的な体制が必要
- ・ 外国人の住まいについて、相談があっているが、金融機関だけでは対応が厳しい。
- ・ 行政との連携が求められる。企業の負担感をいかに減らすことができるのかが重要。
- ・ 行政として、外国人に対しての対応に着手できていない。
- ・ 一企業よる囲い込みもあっていると思う。
- ・ Society5.0 についても取り入れることが重要。
- ・ まちなかにコワーキングスペース (会議、交流、連携) つくり、そこから創業につながる。
- ・ 住民票を置いておくと、その市に税金が落ちるようになっていいと思うが、働き口が本市に近いとちょっといいと思う。
- ・ 観光の取り組みが新たな産業につながる。
- ・ “産官学金による創業支援・事業承継のまち”とするだけでも全然違うと思う。

## 《基本目標 3》

- ・ 菊池高校は生徒数がとても少ない。中学校のうちから、高校 PR が必要。
- ・ レベルの高いイメージが必要。子どもたちが菊池市に帰ってくるような仕事が重要。
- ・ 学校の教える側が菊池市出身ではないため、菊池市内のことを伝えることができていないのではないか。
- ・ 市内中学校から市内高校への進学率が 30%未満となっている。
- ・ 市の取り組みと金融団の取り組みを、もっと連携する必要がある。
- ・ 教育の体制強化
- ・ 高校と行政の連携が求められ、そこには中学校も巻き込んでいく必要がある。
- ・ 進学校だからといって、進学だけではなく、その他にやりたいことが多々あるはず。
- ・ 地元で育った人は、地元で働き、子どもができることが理想。

#### 《基本目標4》

- ・菊池市の防災はどう取り組んでいくのか。
- ・外国人の悪い噂を聞くようになった。警察と連携し、事前に防ぐことが求められる。企業だけに任せるだけではだめ。
- ・マルシェを菊池市に在住・在勤の人に限って行うが、市民に出番が必要。

#### 《全 体》

- ・具体性が欠けているような気がする。
- ・積極的施策がないような気がする。
- ・重点的に取り組む必要があるのではないか。
- ・交流人口も重要だが、現実的に人を増やすことも重要。
- ・交付金事業を申請する場合は、言葉の使い方が重要。
- ・SDGs のゴールが上に記載されている点がいい。
- ・Society5.0 についても記載されているため、キーワードをおさえていることが重要。
- ・Society5.0 は、安心・安全なまちづくり以外にも多分野にわたってもおさえる必要がある。
- ・菊池市にひと・もの・しごとを増やすのもいいが、限度もある。ひと・もの・ことを増やすためのひとつづくりが重要。
- ・地域ごとの産業に携わる人のことも考えて、戦略をつくる必要がある。
- ・戦略の達成には、多額に費用が必要だと思うが、人をどのように活用できるかだと思う。
- ・戦略は5年だが、まちは継続的に続くため、将来的なことを考える必要がある。
- ・補助金も重要だが、まちにあった戦略が重要。

#### 《その他》

- ・中九州横断道路等を活かす取り組みも重要。
- ・菊池が面白いと思ってもらえる人が増えるといいと思う。
- ・まちを盛り上げるためとして、地域おこし協力隊も活用すべき。
- ・日常的な意見交換も含めて。外部人材を活用すべき。